

学年	教科	科目	教科書名	副教材名
高3 総進 SG	地歴	世界史研究	世界史の整理と演習 2024 (とうほう)	最新世界史図説 タペストリー (帝国書院)

## 1. 授業の目標

- 1 大学入試共通テストや各種大学入試の過去問題を使い、古代から近現代までの演習をおこない、大学入試共通テスト・国公立2次試験・各私立大学の個別入試に対応できる実力を養う
- 2 文化の多様性や歴史的事象の意義などを多面的・多角的に考察する力を養い、それらを表現する能力を養う。
- 3 基礎学力到達度テストや各大学の入試問題で、合格点を得点できる力を身に付ける。

## 2. 授業のすすめ方

- 1 演習問題を配布して教科書・資料集を併用しながら授業をすすめます。

## 3. 学習上の留意点

- 1 授業時には教科書・資料集を必ず持参してください。
- 2 世界史は文系の選択科目です。有効な学習ツールには、教科書や参考書・問題集以外にも、様々な書籍や映画、ドキュメンタリー番組、さらには漫画などもあります。折に触れて授業で言及しますが、みなさん自身も意欲的にそれらを視聴するように心がけましょう。
- 3 歴史も科学の一つです。人物・出来事・年号などを暗記するのも重要ですが、各事象が起こった背景などを理解することでより一層理解が深まります。その点を意識して授業に臨んでください。
- 4 教科書の本文だけでなく、脚注・地図・図版・史料・写真などにも目を通しておくことが大切です。

## 4. 副教材・参考文献

- 1 最新世界史図説 タペストリー (帝国書院)  
世界史B用語集 (各出版社より販売) も購入しておくことをお勧めします。一般受験希望者は必須です。
- 2 問題集については、各自、書店等において自分のレベル・志望校に合わせて購入することをお勧めします。また、Classi やスタディサプリを利用するのもよいでしょう。
- 3 歴史は時間と空間とに関する学問です。幅広い知識や教養を身につけることによって世界の理解を深めるためにも、国語や数学、英語など他の教科の学習もおろそかにせず、読書も幅広く行うことを強く勧めます。

## 5. 評価の観点・方法

- 1 定期試験…定期考査3回(100点×3) 計300点
- 2 平常点…1学期20点+2学期10点 計30点
- 3 平常点は、定期考査の点数と連動する部分と授業態度・課題等を加味して総合的に算出します。小テストや課題についてはその都度発表します。
- 4 定期考査、平常点等に基づいて「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について学年末に評価します。

## 6. 定期考査

- 1 定期考査の正確な範囲は、その都度発表します。
- 2 定期考査は授業内容から出題します。毎回の授業に集中してください。

7. 指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4   5	1章 文明の成立と古代文明の特質	中間 考 査	古代から近世の歴史における重要知識の定着と復習を図り、標準的な問題に正解を導けるようになる。
		2章 中央ユーラシアと東アジア世界		
		3章 東アジア世界と東南アジア世界の展開		
		4章 西アジアと地中海周辺の国家形成		
		5章 イスラーム世界の形成と発展		
		6章 東西ヨーロッパ世界の形成と発展		
		7章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国		
	6   7	8章 大交易・大交流の時代		
		9章 アジアの諸帝国の繁栄		
		10章 近世ヨーロッパ世界の動向		
		11章 産業革命と環大西洋革命		
		12章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成		
		13章 アジア諸地域の動揺		
二 学 期	9	14章 帝国主義とアジアの民族運動	期 末 考 査	近現代史についての重要知識の定着と復習を図り、標準的な問題に正解を導けるようになる。
		15章 第一次世界大戦と世界の変容		
	10	16章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成		
		17章 冷戦と第三世界の台頭		
	11			
	12			

※単元名・学習項目は教科書の目次による。シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。